

# Seed CSR Letter

「見える」を、「サポート」します。

## 知ることから始めよう! 共生の一步

### CSRとは?

CSRとは企業が社会的責任を果たし、社会とともに発展していくための活動です。

企業は事業活動を行う中で、社会的な公正さや環境への配慮などを通じて、企業と関わりのある私たち消費者や取引先、地域社会、従業員など様々な関係者に責任ある行動を取るべきだという考えです。

例えば、シードでは『眼』の専門総合メーカーとして、盲導犬育成に携わるアイメイト協会に商品の売上げの一部を寄付し、さらに啓発活動を積極的に行うことで視覚障がいの方の「見える」もサポートしようと考えています。

＼東洋大生たちが活動に参加!/

私たちが活動内容をレポートしてきました!!



津坂 玲奈さん

アイメイト・デーの記事を担当しました。この記事を読んで、少しでもアイメイト(盲導犬)について知っていただければ嬉しいです!



足立 真央さん

シードのCSR活動に参加させていただくことになり、わからないことがたくさんあり緊張していますが、みんなで協力して素晴らしい活動にしていきたいです!



加藤 和果さん

シードが行っている様々な取り組みを、この号外を通じてたくさん的人に伝えられたらなと思います。



富川 莉菜さん

私自身シード製品を使用しているので、シードの取り組みについて知り、号外でみなさんに伝えることができたらいいなと思います。



里見 聰太さん

このCSRレター号外を多くの人に読んでいただき、シードの様々な取り組みについて知つていただけると嬉しいです。



山口 凌河さん

私自身、視覚に障がいがあり、障がい者としての視点から今回の活動に取り組みたいと思います!



CSR EXTRA  
01

# アイメイトデーとは?

「アイメイト」とは私(I)の愛(Love)する目(eye)の仲間、アイメイト協会出身の盲導犬のことです。使用する方と犬との信頼関係や使用者同士の連帯、アイメイト協会出身者としてのプライドといった意味を込め、「アイメイト」と呼んでいます。

そのアイメイト使用者とアイメイトに関わる人たちの繋がりを深め、相互理解や社会啓発を図るアイメイト協会主催のイベントが毎年開催されています。そのイベントこそが『アイメイト・デー』です。アイメイト使用者や飼育奉仕者などそれぞれの立場の方のお話を直接聞いて、アイメイトについて理解・納得・安心することが出来る機会です。記念すべき40回目を迎えた今年もたくさんの人が参加し、アイメイトへの理解と交流を深めました。東京都知事・小池百合子氏をはじめとする来賓の方々の挨拶とアイメイトに関わる方々のお話を聞き、多くの人の支援と協力によってアイメイトが過ごしやすい・育てやすい社会が作られていると感じました。



僕も一緒に参加!



貴重なお話をアイメイト使用者の方から聞けました!



津坂 玲奈

みんなで  
記念撮影!!

コンタクトレンズをして世界が変わった!

CSR EXTRA  
02

# コンタクトレンズ 製造への思い

今回私たちは実際にシードのコンタクトレンズが製造されている工場へ見学に行かせていただきました。工場では1枚のコンタクトレンズが出来上がるまでにたくさんの過程、工程があり、その1つ1つが機械や人の手により丁寧に仕上げられていました。そして工場の方々にお話を聞かせていただき、どのような思いでコンタクトレンズを製造されていますか?と質問したところ、「自分も目が悪く、コンタクトレンズを初めてした時、それによってはっきりと見える景色に感動しました。なので、この感動を自分と同じように視力の弱い方に届けたいと言う思いで製造しています。」とお話をしてくださいました。また、「商品の売り上げの一部が、シードのCSR活動の中の1つとして行われている、アイメイト協会への寄付になっていること、コンタクトレンズを使うことで見える感動と全く同じではないが、全盲の方が盲導犬を通して“見る”ことが出来るという、似た感動を与えられることに少しでも携われることを嬉しく思います。」とおっしゃっていました。



足立 真央



聞くだけではなく体験できた事も  
貴重な経験です!



工場の方々と写真撮影!



歴代のコンタクトを見せてもらいました!

CSR EXTRA

# シードのECO活動

あたりまえの裏に  
リサイクルへの  
細かい工夫が  
ありました。



加藤 和果

シードPureシリーズは、瞳の安心のためにすべての工程を日本国内で製造されている、国内一貫生産のコンタクトレンズです。そのコンタクトレンズを製造しているシード鴻巣研究所では、異物混入を防ぐための工夫として、工場内を清潔にしておいたり、出入り口を一方通行にしていたりしました。

また、ここはCO2の排出量の削減と水使用量の削減を実現した、環境にやさしい工場となっており、さらにリサイクル活動にも力を入れていて、コンタクトレンズを生産する際に使用するプラスチック型の不要になる部分や、生産時に出る不良品などから出るアルミニウムなどの資源を、製造ライン中で回収し、再利用するといったものがあります。工場見学をして、私たちが使用しているコンタクトレンズは、このような様々な工夫によって、普段当たり前のように使用できているのだと感じました。



これから工場見学!いってきます!

工場についてたくさん教えて  
いただきました!

里見 聰太

CSR EXTRA  
04

# ゴールボール 競技の紹介

僕は、幼少のころから父親と野球を始め、小・中学の時は主将で捕手として毎日厳しい練習をしていましたが、中学2年の終わり頃、視力の異変に気づき、その後ほぼ半年で視力を失いました。地元の高校で甲子園に出場するという夢を諦めざるを得ず、茨城県立盲学校へ進学することになりました。そこで野球の代わりに打ち込めるスポーツとして『ゴールボール』と出会いました。初めて体験するスポーツだったので、最初は思うようにできませんでしたが、顧問の先生が元日本代表のエースでもあり、どんどん練習にのめりこんでいました。そして、2013年1月にユース代表選考合宿に召集され、代表選手となることができました。その年の7月にはワールドユース大会で金メダルを獲得し、その後は3度の海外遠征を経験することができました。今は日本代表強化育成選手として、日々練習に取り組んでいます。2020年東京パラリンピックでは、今まで支えてくれた全ての人に、恩返しができるよう、これからも日々精進したいと思っています。『ゴールボール』は、まだまだマイナーなスポーツなので、多くの人にこのスポーツを知っていただき、2020年東京パラリンピックの時には会場に足を運んでいただけると嬉しい思います。

## 【脚注】ゴールボールの変遷

第一次世界大戦の時に目に負傷を負った傷痍軍人のためのリハビリテーションとして行ったのが発祥。2012年ロンドンパラリンピックでは日本ゴールボール女子チームが、パラリンピックで団体史上初の金メダルを獲得しています。

歴史のある  
競技!

目隠ししながら  
鈴の入ったボールをセーブ!

体を張ってゴールを防ぎます!



津坂 玲奈さん

今回の活動を通してCSRやアイメイトについてなど多くのことを学びました。2度ない、とても貴重な体験となり、この製作に関わったことを嬉しく思います!

足立 真央さん

この活動を通して、普段では関わることのできない体験をたくさんさせていただくことができてとても為になりました!今後もこの活動を活かしていきたいと思います。

加藤 和果さん

私は工場のECO活動についての記事を書いたのですが、工場の様子やリサイクル活動などについて言葉で表現することはとても難しいなと感じました。とても貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

富川 莉菜さん

私はCSRとは?という記事を担当しました。CSRがよくわからないと感じる人も少なくないと考え、自分なりに調べて書かせていただきました。今回このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

里見 聰太さん

今回、このような活動に携われることができ、嬉しく思います。普段経験することのできないことが多くあり、貴重な体験となりました!この活動に参加することができてよかったです。

山口 凌河さん

今回の活動で多くのことを学ぶことができ、有意義な活動となりました。記事を書くにあたって関わってくれた方々には心から感謝しています。ありがとうございました。